

平成 21 年 2 月 13 日

各位

会社名 蛇の目ミシン工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加藤 澄一
 (コード番号 6445 東証第 1 部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 関 建吾
 (TEL 03 - 3277 - 2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 10 月 29 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日) 通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	43,500	1,200	900	100	0 円 52 銭
今回修正予想 (B)	42,000	900	40	2,000	10 円 35 銭
増減額 (B - A)	1,500	300	860	2,100	-
増減率 (%)	3.4	25.0	95.6	-	-
(ご参考)					
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	47,421	1,312	324	1,207	6 円 23 銭

2. 業績予想の修正理由

米国に端を発した金融危機は、急激な株価の下落、円高・ドル安等の為替の大幅な変動をもたらし、その影響は実体経済へと波及し世界同時不況の局面を迎えております。当社グループにつきましても、第 3 四半期に入り消費者の消費意欲の減退、企業の設備投資抑制、生産調整といった経済環境の影響を受け、通期業績が計画を大幅に下回る見込となりました。

売上高の減少について

家庭用ミシンの販売台数は第 3 四半期までは前年同期比で増加したものの、第 4 四半期に入り大きく販売数量が落ちる見込みであることと、経済不況により中高級ミシンの販売が落ちている為、販売の平均単価が低下していること
 産業界全体の設備投資抑制の動きにより、ロボット・エレクトロプレス製品の需要が見込みを大幅に下回っていること
 急激な円高が進行していること

等により売上高が減少し、減益の要因となりました。

為替差損の発生について

急激な円高の進行により、当第3四半期連結会計期間において為替差損 531 百万円を計上いたします。

繰延税金資産の取り崩しについて

当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産を 1,139 百万円取り崩し、法人税等調整額として計上いたします。

以上の状況を踏まえ、平成 21 年 3 月期連結通期業績予想を修正いたします。

以上